

[お話] —工場こうじょうで作られたもののねだん—

テレビやパソコンの商業きぼう こうりかで「メーカー希望小売価格」というのを見たことはありませんか。電気屋さんのチラシなどを見ていると、希望小売価格10万円のテレビが、8万9,000円とかに値引ねびきされて売られているようなことがあります。セールのときなんかには、5万9,800円なんてねだんがついていることもあります。

この「メーカー希望小売価格」というのはメーカー（品物を作った会社）が、「このくらいで売ってほしいな」と、はじめから決めているねだんなのです。しかし、これよりやすく売られるのがふつうです。

ですから、お店で売られている品物のうち、工場で作られたもののねだんは、作った会社がおよそのねだんを決め、それをもとにお店の人がじっさいに売り出すねだんを決めていると言っていいでしょう。

「しつもん2」

工場で作られているものにはたいてい、メーカー希望小売価格というのがついています。セールなどでないときでも、そのねだんよりも安く売られているのがふつうです。やすく売っているということは、それだけそんをしている人（会社やお店）があるわけですね。

では、だれ（どこ）が、安く売った分のそんをしているのでしょうか。

（もうけがないところがあるでしょうか）

- ア 品物を作った会社かいしゃ（工場）
- イ 品物を売るお店
- ウ 工場とお店の両方りょうほう
- エ どこ（だれ）もそんをしていない